

特別委員会

沖縄の負担軽減について

質疑が集中

総合開発特別委員会

金澤 俊 委員長

今委員会で議論が集中したのは、米軍再編に伴う千歳基地での訓練移転による沖縄の負担軽減がどうなっているのかということでした。

訓練移転開始から10年、受け入れを表明した苫小牧市としてもその検証も必要ではないかと思えます。

外来機の飛来もあるもの、岩倉市長からは今後も沖縄の負担軽減に協力していかなければならない旨の答弁がされました。



10年が経過した訓練移転

「日新町のガス爆発・火災について」及び「台風10号の被害について」議論

安全・安心及び市民ホール建設に関する特別委員会

小野寺 幸恵 委員長

今委員会では、「日新町のガス爆発・火災について」と「台風10号の被害について」報告がありました。日新町のガス爆発・火災については、警察の捜査中で原因は明らかになっておらず、事故当時の対応などについてガス事業者から聞き取りをした上で、あらためて市から報告を受けることになりました。台風10号については、被害状況や避難体制などが報告され、避難所の改善や海岸侵食の抜本対策が提案され、住民の安全安心の立場で活発な質疑が交わされました。



流木が打ち上げられた海岸

平成27年度決算審査特別委員会

一般会計

10月3日から予備日を含めた3日間の日程で、一般会計決算委員会を開催し、全会一致で認定しました。

12名の委員で構成され、延べ51名の委員から活発な質疑が交わされました。

特に、総務費では、総合防災訓練や自主防災組織育成、街路灯のLED化、ふるさと納税普及、民生費では、生活困窮者自立支援、放課後児童クラブ、キッズタウン開催事業、その他、除雪対策、市営住宅、観光PR、学校教育などについて幅広い視点での質疑となりました。

企業会計

10月8日から2日間の日程で、企業会計決算委員会を開催し、慎重審査の結果、すべての会計において全会一致で認定しました。

審査では、12名の委員が一問一答方式で質疑を行い、延べ32名が積極的に質問しました。

決算審査という限られた質疑で、各委員は予算執行のあり方や課題などを指摘し、さらなる改善を提案するなど、議会のチェック機能の役割が存分に発揮された委員会でした。今後も会計閉鎖が予測される会計があるだけに、委員会運営のあり方が課題です。

一 般 会 計		
委員長	林 光	仁
副委員長	牧 田 俊	之
委 員	竹 田 秀	泰
	字 多 春	美
	○ 藤 田 広	美
	○ 工 藤 良	一
	○ 松 尾 省	勝
	○ 谷 川 芳	一
	○ 矢 嶋 翼	
	○ 矢 農 誠	隆
		岡 征
	○ 富 山	三
	○ 小 山	

(○印は理事)

企 業 会 計		
委員長	渡 辺 満	
副委員長	岩 田 典	久
委 員	○ 板 谷 良	一
	○ 西 澤 厚	子
		俊
		神 山 哲
		越 川 慶
	○ 首 藤 孝	一
	○ 小 野 寺 幸	治
	○ 岩 田 薫	惠
	○ 桜 井 忠	樹
		西 野 茂

(○印は理事)